

非美容乳房手術における術前推奨事項

非美容的乳房手術における術前鎮痛措置推奨事項

	大乳房手術	小乳房手術
術前推奨	▪ 傍脊椎ブロック(グレード A) ▪ ガバペンチノイド(グレード A) ▪ 早期回復期に十分な鎮痛を提供するための短時間乳房手術処置における COX-2 選択的阻害剤(グレード D)/パラセタモール(グレード B)	▪ 早期回復期に十分な鎮痛を提供するための短時間乳房手術処置における COX-2 選択的阻害剤(グレード D)/パラセタモール(グレード B)

非美容乳房手術における術中推奨事項

非美容的乳房手術における術中鎮痛措置推奨事項

	大乳房手術	小乳房手術
術中推奨	▪ 該当なし	▪ 該当なし

非美容乳房手術における術後推奨事項

非美容的乳房手術における術後鎮痛措置推奨事項

	大乳房手術	小乳房手術
術後推奨	- 従来の NSAID(グレード A)または COX-2 選択的阻害剤(グレード B) - 強オピオイド、効果をもたらす滴定(高強度の疼痛用)(グレード B)または中程度から低強度の疼痛用の弱オピオイド(グレード B) - 強度が中等度でない疼痛に対するパラセタモール単独または他の非オピオイド鎮痛薬(グレード B)との併用 - 高強度の疼痛に対するパラセタモールとオピオイド鎮痛薬(グレード D)の併用	- 従来の NSAID(グレード A)または COX-2 選択的阻害剤(グレード B) - 中程度から低強度の疼痛に対する弱オピオイド(グレード B) - 強度が中等度でない疼痛に対するパラセタモール単独または他の非オピオイド鎮痛薬(グレード B)との併用 - 高強度の疼痛に対するパラセタモールとオピオイド鎮痛薬(グレード D)の併用

美容整形外科には非推奨

美容整形外科には非推奨

	大乳房手術	小乳房手術
術前	- 従来の NSAIDs(グレード B)。術前投与と術後投与の利点、および出血リスク増加のための非一貫性術式固有かつ譲渡可能なエビデンスのため	- ガバペンチノイド(グレード D)。疼痛強度が一般的に通常の鎮痛薬に対する補助剤を正当化するのに十分なほど耐え難くないため
非推奨	- 鎮痛用コルチコステロイド(グレード D)。術式固有	- 従来の NSAIDs(グレード D)。術前投与と術後投与の利

	のエビデンスが不十分なため - COX-2 選択的阻害薬(短時間乳房手術を除く)(グレード D)。譲渡可能なエビデンスが術前投与と術後投与の非一貫性利益を示し、術式固有のエビデンスはないため - NMDA 拮抗薬 - o デキストロメトルファン(グレード B)。限定された術式固有エビデンスのため - o 鎮痛用マグネシウム(グレード B)。鎮痛効果の欠如を示す譲渡可能なエビデンスのため - パラセタモール(短時間乳房手術を除く)(グレード D)。術前投与が術後投与と比較して何らかの鎮痛効果の有無を示すための術式固有または譲渡可能なエビデンスの欠如のため - 強オピオイド(グレード D)。術前投与と術後投与の鎮痛効果があるという術式固有のエビデンスの欠如のため	益のための非一貫性術式固有および譲渡可能なエビデンスのため - 鎮痛用コルチコステロイド(グレード D)。術式固有のエビデンスが不十分なため - COX-2 選択的阻害薬(短時間乳房手術を除く)(グレード D)。譲渡可能なエビデンスが術前投与と術後投与の非一貫性利益を示し、術式固有のエビデンスはないため - NMDA 拮抗薬 - o デキストロメトルファン(グレード B)。限定された術式固有のエビデンスのため - o 鎮痛用マグネシウム(グレード B)。鎮痛作用の欠如を示す譲渡可能なエビデンスによる - パラセタモール(短時間乳房手術を除く)(グレード D)。術前投与が術後投与と比較して何らかの鎮痛効果の有無を示すための術式固有または譲渡可能なエビデンスの欠如のため - 強オピオイド(グレー
--	---	---

	- 胸部硬膜外鎮痛(グレード D)。合併症のリスクがあるため - 経穴電気刺激(グレード D)。限定された術式固有および譲渡可能なエビデンスのため	- ド D)。術前投与と術後投与の鎮痛効果があるという術式固有のエビデンスの欠如のため - 傍脊椎ブロック(グレード D)。合併症のリスクがあるため - 胸部硬膜外鎮痛(グレード D)。合併症のリスクがあるため - 経穴電気刺激(グレード D)。限定された術式固有および譲渡可能なエビデンスのため
術中	- 鎮痛用コルチコステロイド(グレード D)。術式固有のエビデンスが不十分なため - アデノシン(グレード D)。限定された術式固有のエビデンスおよび譲渡可能なエビデンスのため	- 鎮痛用コルチコステロイド(グレード D)。術式固有のエビデンスが不十分なため - アデノシン(グレード D)。限定された術式固有のエビデンスおよび譲渡可能なエビデンスのため
非推奨	- 肋間ブロック(グレード D)。術式固有のエビデンスが不十分なため - 高濃度の酸素(グレード B)。陰性の術式固有のエビデンスによる	- 肋間ブロック(グレード D)。術式固有のエビデンスが不十分なため - 高濃度の酸素(グレード B)。陰性の術式固有のエビデンスによる

	- 経穴電気刺激(グレード D)。限定された術式固有および譲渡可能なエビデンスのため	- 経穴電気刺激(グレード D)。限定された術式固有および譲渡可能なエビデンスのため
術後	- メキシレチン(グレード D)。限定された非一貫性術式固有のエビデンスのため - パラセタモール単独(グレード B)。不十分な鎮痛効果による高強度疼痛のため - 低～中程度の疼痛向けの強オピオイド(グレード B)。嘔吐やその他の副作用の危険性があるため	- ガバペンチノイド(グレード B)。疼痛強度が一般的に通常の鎮痛薬に対する補助剤を正当化するのに十分なほど耐え難くないため - メキシレチン(グレード D)。限定された非一貫性術式固有のエビデンスのため - パラセタモール単独(グレード B)。不十分な鎮痛効果による高強度疼痛のため
非推奨	- 強オピオイドの IM 投与(グレード B)。有害な薬物動態、注射に伴う疼痛、および患者の不满を示す移譲渡可能なエビデンスによる - 鎮痛薬用抗生物質(グレード D)。非一貫性を示す限定された術式固有のエビデンスによる - 連続的な傍脊椎ブロック(グレード D)。限定された術式固有のエビデンスによる	- 低～中程度の疼痛向けの強オピオイド(グレード B)。嘔吐やその他の副作用の危険性があるため - 強オピオイドの IM 投与(グレード B)。有害な薬物動態、注射に伴う疼痛、および患者の不满を示す移譲渡可能なエビデンスによる - 鎮痛薬用抗生物質(グレード D)。非一貫性を示す限定さ

	- 胸部硬膜外鎮痛(グレード D)。合併症のリスクがあるため - 局所麻酔薬の局所投与(グレード D)。術式固有の非一貫性エビデンスによる - 排液管(グレード B)を介した従来の NSAID の創傷有効性。鎮痛効果がないことを示す術式固有かつ移転可能なエビデンスのため - 高濃度の酸素(グレード B)。陰性の術式固有のエビデンスによる	れた術式固有のエビデンスによる - 連続的な傍脊椎ブロック(グレード D)。合併症の危険性があるため - 胸部硬膜外鎮痛(グレード D)。合併症のリスクがあるため - 局所麻酔薬の局所投与(グレード D)。術式固有の非一貫性データによる - 排液管(グレード B)を介した従来の NSAID の創傷有効性。鎮痛効果がないことを示す術式固有かつ移転可能なエビデンスのため - 高濃度の酸素(グレード B)。陰性の術式固有のエビデンスによる
--	---	--